

第4回 幹事会

令和6年11月15日

【出席委員】 計7名

委員長：刀根荘兵衛（敦賀商工会議所副会長）

委員：堤宗和（敦賀市副市長）、姫川祐一（福井県新幹線・交通まちづくり局長）

奥井純子商業エリア分科会長（敦賀商工会議所専務理事）

河藤正樹敦賀駅分科会副分科会長（敦賀駅前商店街振興組合代表理事）

中村紀明氣比の杜分科会長（氣比神宮氏子総代）

池田裕太郎交流拡大分科会長（敦賀観光協会会長）

【議事内容】

(1) 北陸新幹線敦賀開業後の状況について

(2) アクションプログラム骨子（案）について

(3) 新たなまちづくり会社について

【主な意見等】

(1) ・県全体としては伸び率20%前後のところ、敦賀市は伸び率が維持している

(2) ・氣比の杜における施設において、ジャクエツコレクションを展示するといった連携は検討することが可能

・氣比の杜整備と神楽通り2車線化にあたっては、エリア全体における駐車場の配置とあわせて、駐車場の規模も検討する必要がある

・文教施設と一緒に、休憩がとれる場所があると良い

・新幹線敦賀以西の整備はこの先20数年以上かかり、当面敦賀駅が終着駅となることから、敦賀以西への波及効果にもつなげていきたい

・アクションプログラムとエリアビジョンの関連性について整理すべき

・アクションプログラムの方向性として、観光客向けに特化せず、市民の便宜を盛り込む形が良い

・テレワークなどは需要があり経済波及効果も期待できるため、取り組んでいきたい

・ケータリングカーの総数が少ないので、賑わい創出のために民間と連携して取り組んでいきたい

第3回 商業エリア分科会

令和6年10月10日

【出席委員】 計5名（欠席2名）

分科会長：奥井純子（敦賀商工会議所専務理事）

副分科会長：若杉実（港都つるが(株)常務取締役）

委員：小坂正徳（本町1丁目商店街代表理事）、渡辺晃（本町2丁目商店街代表理事）

中山喜美子（神楽町1丁目商店街代表理事）

【議題内容】

- 敦賀まちづくり協議会の開催結果について
- アクションプログラム（案）について
 - ①アクションプログラムの検討状況、②プロジェクト（案）の事業内容

【主な意見等】

- ・ 門前町に相応しく和の景観に統一するなどの基準を付け加えられると良い
- ・ まちづくりファンドにより新規店舗が増えてきている
- ・ ぐるっと敦賀周遊バスとコミュニティバスの違いや、バスのルート、時刻が分かりにくいので、観光客にも市民にも分かりやすいようにした方が良い
- ・ 観光地までの距離がわかるサインなど、デザインで工夫して案内できると良い
- ・ 市内のラーメン店が朝市のような形で国道8号空間に出店し、そこで店のPRをして実店舗に案内するといった企画を検討していく

第3回 敦賀駅分科会

令和6年11月25日

【出席委員】 計4名（欠席3名）

分科会長：川本義海（福井大学学術研究院工学系部門教授）

委員：木戸守（福井鉄道(株)嶺南営業所長）、坪内千春（(一社)福井県タクシー協会嶺南支部敦賀分会）

代理委員：小林史明（株）ハピラインふくい総務企画部企画課主査）

【議題内容】

- アクションプログラムプロジェクト事業（案）について
- 今後のアクションプログラム策定スケジュールについて

【主な意見等】

- ・ 観光客向けに氣比神宮など**主要観光地への案内サインの充実が必要**
- ・ 駅周辺でのコインパーキングは、行政ではなく民間主体で取り組んだ方が良い
- ・ ホテル宿泊者や駅周辺で食事をするツアー客などのため、**駅西口にも観光バスの乗降場や駐車場が必要**

第3回 氣比の杜分科会

令和6年10月18日

【出席委員】 計7名

分科会長：中村紀明（氣比神宮氏子総代）

副分科会長：仲村雅美（敦賀市区長連合会北地区区長）

委員：増田一司（敦賀商工会議所）、尾崎寛之（港都つるが(株)企画営業課長）

中野拓郎（敦賀市文化振興課）、浅妻幸雄（敦賀市文化協会事務局長）

オブザーバー：桑原宏明（氣比神宮宮司）

【議題内容】

- 敦賀まちづくり協議会の開催結果について
- アクションプログラム（案）について
 - ①アクションプログラムの検討状況、②プロジェクト（案）の事業内容

【主な意見等】

- ・従来の景観を取り戻すことは地域全体にとって一番大事なことである
- ・仮に美術館や図書館といった機能がエリアに入ってくるとなると駐車場が不足するのではないかと懸念する。そのため税務署跡地も駐車場として活用できると良い
- ・神楽通り2車線化計画では駐車スペースを設置されないため、商店街や文教複合施設の利用者の駐車場を総合的に検討する必要がある
- ・氣比の杜の整備はスピード感をもって取り組んでほしい。文教エリアとする合意形成が将来にわたって継続されるのか保障できない
- ・お年寄りから子供まで見て学べて遊べる場所があり氣比神宮を浸透させるような場所であるべき
- ・美術館でなくても、複合施設の中に美術品コーナーなどがあればよい

第3回 交流拡大分科会

令和6年10月29日

【出席委員】 計6名（欠席1名）

分科会長：池田裕太郎（敦賀観光協会会長）

副分科会長：筒井二郎（福井県インバウンドアドバイザー）

委員：海老名聡（株）日本旅行Tis福井支店長）、大道哲平（株）マップトラベル代表取締役）

増田正樹（観光ボランティアガイドつるが会長）、西島由佳里（神楽町1丁目商店街）

【議事内容】

- 敦賀まちづくり協議会の開催結果について
- アクションプログラム（案）について
 - ①アクションプログラムの検討状況、②プロジェクト（案）の事業内容

【主な意見等】

- ・クルーズ客船の乗船客の感想を把握したいので、福井県実施のアンケート調査結果を関係者にもフィードバックしてほしい
- ・クルーズ船のおもてなしが大変良かったという評価は受け止めるべき
- ・寄港時に人が滞留する場所での意見収集や多言語スタッフ等の配置、有料の体験コーナー等、始められるところから実行できると良い
- ・情報の一元化においてデジタルマップ（Wi-Fi整備要）だけでなく、紙ベースも必要
- ・訪日外国人客の受け入れ側同士の情報共有を図れる場があると良い
- ・関係者だけでなく、一般市民の方にもインバウンド受け入れを協働して取り組もうと伝えていくことが必要であり、そのためにも市民向けに情報発信が必要
- ・観光資源の磨き上げとして、今ある素材をうまく活用できると良い
- ・訪日外国人客に限らず、国内の観光客にとっても体験観光は非常に大事
- ・敦賀を起点に、嶺南全体、県全体または他県などとチームとなって取り組むべき
- ・県のプロモーションと連携を図り、ターゲットを絞るよりも今日本に来ているところから敦賀に呼び込むと良い

趣旨

策定の趣旨

経済界と行政が一体となって、新幹線開業効果を最大化、持続化させるためのアクションプログラムを策定する。

目的

- ・敦賀の港や鉄道、歴史・文化、食など、ポテンシャルの高いコンテンツを充実、連結させ、国内外から人を惹きつける場をつくる。
- ・まちなかに持続的な賑わいを生み出し、その効果を敦賀市内や嶺南地域全体に波及させる。

計画期間

策定日～2030年度

目指す姿

世界と未来に開かれた選ばれるまち敦賀 - 関心層、リピーターから“つるがファン”の獲得へ -

- ・観光、商業、歴史や文化など、様々な敦賀の魅力を重ね、世界中から多くの人を呼び込むことで、関心層やリピーターから“つるがファン”を獲得する。
- ・“つるがファン”との交流を重ね、新たなまちづくりのプレーヤーを生み出し、未来に向かって発展し続けるまち敦賀を目指す。

基本方針と施策の方向性

基本方針

“オールつるが”で敦賀のまちの魅力を高め、多様な交流によるにぎわいを創生

施策の方向性

I. “駅まち周遊”まちづくり ～駅とまちの往来で人があふれるまちをつくる～ <<駅周辺・交通対策>>

敦賀駅を起点として市街地内の各エリアを周遊する仕掛けをつくり、多くの人々が敦賀駅を中心として周辺地域を行き交うまちを形成する。

II. “賑わい創生”まちづくり ～多様な賑わいが生まれるまちをつくる～ <<商業対策>>

新たなまちのプレーヤーを呼び込み、中心市街地の各商店街の特色を活かした新たな賑わいが創生するまちを形成する。

III. “歴史文化”まちづくり ～歴史と文化を伝えるまちをつくる～ <<歴史・文化振興>>

敦賀の歴史と文化の中心である氣比神宮の価値をさらに高め、一帯を文教エリアとして緑豊かな空間を形成するとともに、氣比神宮の参道にふさわしい町並みの生む門前町を形成する。

IV. “観光交流”まちづくり ～世界中から訪れたいまちをつくる～ <<交流拡大>>

東洋の波止場と言われた敦賀港の金ヶ崎地区において嶺南地域を代表する観光拠点を整備するとともに、インバウンド需要を取り込み、国内外から多くの人々が訪れるまちを形成する。

I. “駅まち周遊” まちづくり

～駅とまちの往来で人があふれるまちをつくる～

基本方針

敦賀駅を起点として市街地内の各エリアを周遊する仕掛けをつくり、多くの人々が敦賀駅を中心として周辺地域を行き交うまちを形成する。

目指す姿

- ・玄関口である敦賀駅周辺において充実した観光情報の発信やまち巡りクーポンを発行することで、敦賀駅を起点に商店街やまちなかと周辺地域を市民・来訪者が行き来している。
- ・北陸新幹線を利用して来た観光客がパンフレットを片手に、まちなかを散策し、港町つるがならではの食を楽しんでいる。
- ・敦賀駅では、ottaやちえなみきを中心に、家族連れやカップル、夫婦、子どもたちなど多くの人々が訪れている。また、駅周辺と商店街とが連携し、季節に合わせたイベントが開催され、幅広い世代の人たちが楽しく過ごしている。
- ・鉄道利用者はもとより、車・バス利用者も敦賀駅を起点として、最適化されたコミュニティバスやシェアサイクルを活用したまちなかや市内への回遊、鉄道やバス、自転車、レンタカーを利用した嶺南地域への回遊を楽しんでいる。

主なプロジェクト

○駅から観光地、まちなかへの誘導

- ・TSURUGA POLT SQUARE otta やホテル、商店街との連携イベントを開催
- ・ホテル宿泊者に対し、商店街で使えるまち巡りクーポンを発行
- ・観光スポット、宿泊、飲食、土産、二次交通等の情報を集約したパンフレットを作成し、敦賀駅やホテルで配布
- ・商店街の空き店舗を活用してホテル宿泊者用ラウンジを整備し、観光客を商店街に誘導
- ・敦賀駅北側エリアの土地所有者に対してアンケートを実施し、土地活用の可能性を検討
- ・敦賀駅構内における観光案内、若狭湾サイクリングルートや敦賀駅を起点としたレンタカー利用の周知により嶺南各地域への広域周遊を促進

○駅周辺の交通環境の向上

- ・市営駐車場の包括管理
- ・鉄道・運輸機構跡地を一般車や観光バスの駐車場として活用
- ・シェアサイクルのポート配置やバス路線の最適化
- ・二次交通マップの作成やデジタルサイネージの設置により、情報発信を強化

Ⅱ. “賑わい創生” まちづくり

～多様な賑わいが生まれるまちをつくる～

基本方針

新たなまちのプレイヤーを呼び込み、中心市街地の各商店街の特色を活かした新たな賑わいが創生するまちを形成する。

目指す姿

- ・空きビル等のリノベーションが進み、全国からのテナント入居や学生シェアハウスの整備によって、新たなまちづくりのプレイヤーが集い、既存のプレイヤーとの融合が進み、まちなかの賑わいが生まれている。
- ・駅から国道8号、神楽通りを通して舟溜り地区へと続く動線上において、各商店街ではそれぞれの特色を活かした取り組みや居心地が良く歩きたくなるような仕掛けが施され、市民や来訪者がまち歩きを楽しんでいる。
- ・各商店街ごとにブランディングが図られ、多種多様な店舗の出店が増加している。商店街で買い物をする人、食を楽しむ人、モニュメントやイベントを楽しむ人であふれている。
- ・地元商店街により議論を重ねて策定した将来像や活性化策の実現を通じて、店舗それぞれがお客さんとの出会いや会話を楽しんでいる。

主なプロジェクト

○新たなプレイヤーの誘致

- ・空きビル等を活用し、まちづくりのプレイヤーとなる学生向けシェアハウスとしてリノベーション
- ・まちづくり会社と不動産事業者が連携して土地所有者等の利用意向を把握し、紹介可能な物件情報を集約して発信
- ・誘致したい店舗の好事例をWEB発信するとともに、全国公募によりテナント入居者を募集
- ・敦賀市まちづくり魅力UP応援補助金を活用し、魅力的な店舗を誘致

○商工会議所機能の拡充

- ・老朽化が進む敦賀商工会館の移転とともに跡地利用を検討

○各商店街の特色を活かした商店街の活性化

- ・各商店街の特色を活かした商店街全体ビジョンを策定、実行
- ・本町通りエリアビジョンや敦賀駅前商店街活性化プランを策定、実行
- ・銀河鉄道999及び宇宙戦艦ヤマトのモニュメントの活用
- ・大規模低未利用地を活用した賑わいづくりイベントの開催

Ⅲ. “歴史文化” まちづくり ～歴史と文化を伝えるまちをつくる～

基本方針

敦賀の歴史と文化の中心である氣比神宮の価値をさらに高め、一帯を文教エリアとして緑豊かな空間を形成するとともに、氣比神宮の参道にふさわしい町並みの門前町を形成する。

目指す姿

- ・北陸道総鎮守と言われる氣比神宮に隣接する緑地空間や、文教を核とした複合施設により氣比神宮一体の魅力が高まり、氣比神宮を起点に嶺南地域に点在する観光地を巡る人が増えている。
- ・地区住民や市民が氣比神宮エリアに日常的に足を運び、交流を通じて地域コミュニティを育み、市民のつながりを醸成している。
- ・氣比神宮の門前町に相応しい参道が整備され、神宮と一体感が感じられる雰囲気のある空間が憩いとふれあいの場として人々が滞留し賑わいが生まれている。
- ・氣比神宮の歴史的魅力を活かした土産や名物、体験の場などの提供や、朝市や神宮の早朝参拝、座禅・写経等を観光客と市民が一緒になって楽しめる日常イベントの開催により、常に門前界隈がにぎわっている。

主なプロジェクト

○氣比の杜整備構想の策定・推進

- ・氣比神宮に隣接する旧北小学校跡地を新たな人の交流やコミュニティを創出する「文教エリア」として整備するとともに、グラウンド跡地は神宮の杜として再整備
- ・市民や関係者の意見を聴きながら、氣比の杜整備構想を策定し具体化を推進

○神楽通りの参道化

- ・敦賀市まちづくり魅力UP応援補助金を活用した新規店舗の開設や既存店のリノベーションを推進し、参道としてのまち歩きを楽しめる空間を形成
- ・神楽通りの景観整備等により、参道にふさわしい雰囲気のある通りに磨き上げ
- ・歩行空間を拡張し、店舗のテラス、休憩、イベント等に活用

IV. “観光交流”まちづくり

～世界中から訪れたいくなるまちをつくる～

基本方針

東洋の波止場と言われた敦賀港の金ヶ崎地区において嶺南地域を代表する観光拠点を整備するとともに、インバウンド需要を取り込み、国内外から多くの人々が訪れるまちを形成する。

目指す姿

- ・金ヶ崎地区の賑わい施設に市内外だけでなく、国外からも多くの人が集い、歴史が集積する周辺エリアを回遊しながら、敦賀の歴史文化を堪能している。
- ・敦賀駅や氣比神宮、中心市街地に訪れた観光客が、鉄道のまち敦賀を回想させる廃線敷を活用した周遊ルートを通して、まちなかと金ヶ崎エリアとの往来が生まれている。
- ・クルーズ船の寄港により訪日外国人が市内を訪れ、観光やショッピングなどをストレスなく楽しんでいる。また、市民との交流を通じて、敦賀のおもてなしや魅力を肌で感じ、つるがファンとなって、世界中への魅力発信し、さらなる来訪者を呼び込んでいる。
- ・敦賀市が滞在の拠点となり、市内だけでなく嶺南地域や丹南地域、滋賀県北部への広域観光が活性化することで、周辺地域も含めたエリア全体として新しい賑わいや価値が創出され、多くの訪日外国人が集まる好循環が生まれている。

主なプロジェクト

○金ヶ崎エリアの整備

- ・民間活力を導入し、アップークラスの宿泊施設や洗練されたレストラン、物販施設などが一体となった賑わい施設を整備
- ・鉄道貨物の線路跡や転車台など鉄道遺産を活用した公園や駐車場などの整備により、金崎宮、赤レンガ倉庫、敦賀ミュージウムなど金ヶ崎エリアに点在する施設を結ぶ回遊空間を形成
- ・旧敦賀港線の線路跡を活かして、まちなかを結ぶ回遊空間などを整備

○インバウンド受け入れ環境の整備

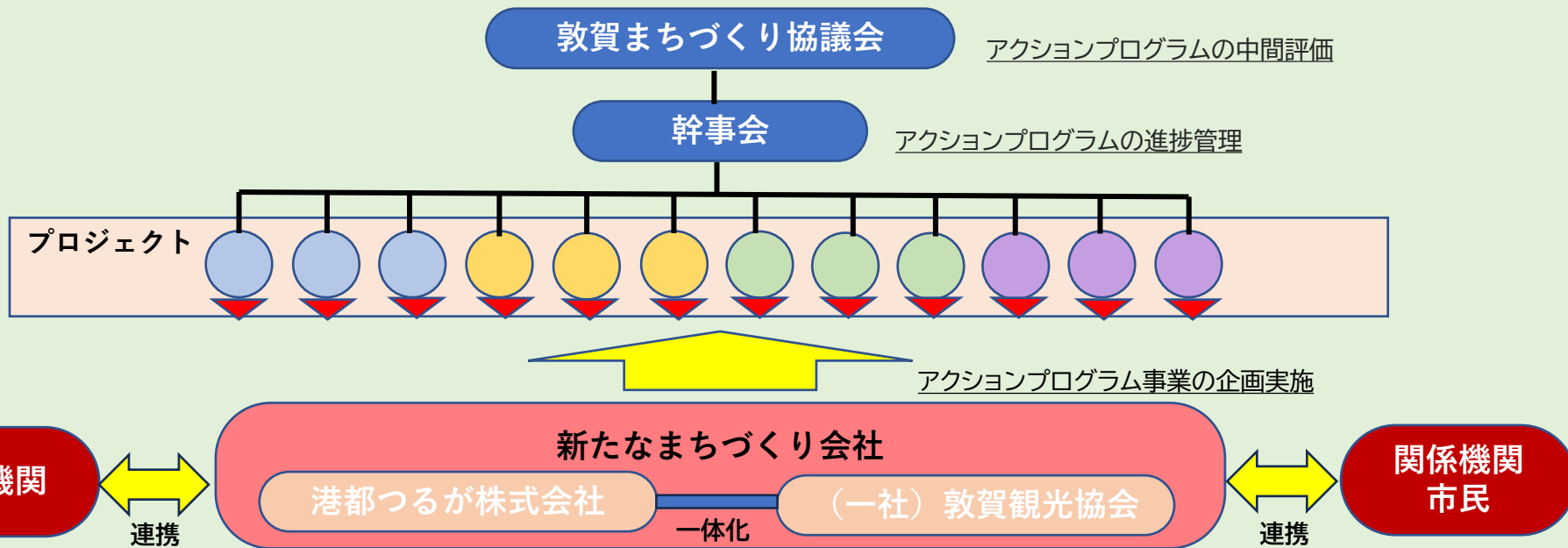
- ・免税店や免税カウンターの設置、キャッシュレス対応店の普及促進
- ・外国語表記の案内サインの設置や、外国語表記のメニュー等の充実
- ・外国語対応が可能な観光案内ガイドの育成
- ・インバウンド向けの観光案内サイトや海外インフルエンサーなどを活用した敦賀の魅力発信
- ・クルーズ船寄港時のおもてなし強化に向けた、実証実験・アンケートの実施による受け入れ体制の向上
- ・滋賀県、京都府、石川県など周辺地域への経路を想定した観光ルートの開発や、訪日旅行を取扱う旅行会社への営業活動の実施

(仮称) 敦賀まちづくりアクションプログラム 骨子 (案)

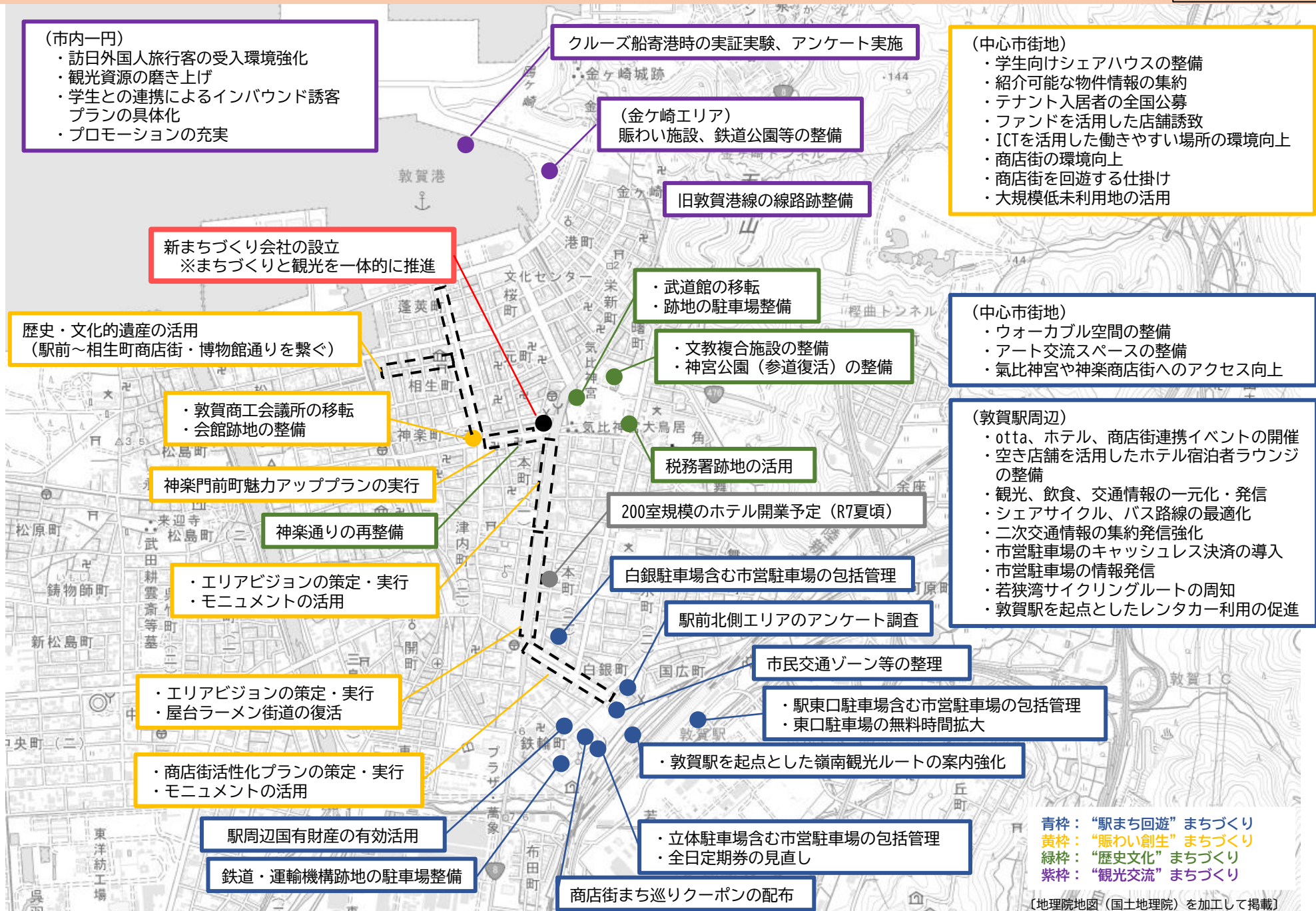
推進体制

敦賀まちづくり協議会の下部組織として設置した「幹事会」において、各分科会におけるプロジェクトの進捗を確認し、状況に応じた助言等を行うとともに、必要がある場合にはプロジェクト内容の見直し、追加等を実施する。

プロジェクトの実行については、「まちづくり」と「観光」を連結させ一元的に推し進めるといった観点から、港都つるが株式会社と(一社)敦賀観光協会を一本化した「新たなまちづくり組織」を中心に、敦賀市・会議所・県・地元と連携しながらプロジェクトを実行する。



(仮称)敦賀まちづくりアクションプログラム プロジェクトマップ (案)



(市内一円)
 ・訪日外国人旅行客の受入環境強化
 ・観光資源の磨き上げ
 ・学生との連携によるインバウンド誘客プランの具体化
 ・プロモーションの充実

クルーズ船寄港時の実証実験、アンケート実施

(中心市街地)
 ・学生向けシェアハウスの整備
 ・紹介可能な物件情報の集約
 ・テナント入居者の全国公募
 ・ファンドを活用した店舗誘致
 ・ICTを活用した働きやすい場所の環境向上
 ・商店街の環境向上
 ・商店街を回遊する仕掛け
 ・大規模低未利用地の活用

(金ヶ崎エリア)
 賑わい施設、鉄道公園等の整備

旧敦賀港線の線路跡整備

新まちづくり会社の設立
 ※まちづくりと観光を一体的に推進

歴史・文化的遺産の活用
 (駅前～相生町商店街・博物館通りを繋ぐ)

・武道館の移転
 ・跡地の駐車場整備

(中心市街地)
 ・ウォークアブル空間の整備
 ・アート交流スペースの整備
 ・氣比神宮や神楽商店街へのアクセス向上

・文教複合施設の整備
 ・神宮公園(参道復活)の整備

・敦賀商工会議所の移転
 ・会館跡地の整備

税務署跡地の活用

(敦賀駅周辺)
 ・otta、ホテル、商店街連携イベントの開催
 ・空き店舗を活用したホテル宿泊者ラウンジの整備
 ・観光、飲食、交通情報の一元化・発信
 ・シェアサイクル、バス路線の最適化
 ・二次交通情報の集約発信強化
 ・市営駐車場のキャッシュレス決済の導入
 ・市営駐車場の情報発信
 ・若狭湾サイクリングルートの周知
 ・敦賀駅を起点としたレンタカー利用の促進

神楽門前町魅力アッププランの実行

200室規模のホテル開業予定(R7夏頃)

神楽通りの再整備

白銀駐車場含む市営駐車場の包括管理

・エリアビジョンの策定・実行
 ・モニュメントの活用

駅前北側エリアのアンケート調査

・エリアビジョンの策定・実行
 ・屋台ラーメン街道の復活

市民交通ゾーン等の整理

・商店街活性化プランの策定・実行
 ・モニュメントの活用

・駅東口駐車場含む市営駐車場の包括管理
 ・東口駐車場の無料時間拡大

駅周辺国有財産の有効活用

・敦賀駅を起点とした嶺南観光ルートの案内強化

鉄道・運輸機構跡地の駐車場整備

・立体駐車場含む市営駐車場の包括管理
 ・全日定期券の見直し

商店街まち巡りクーポンの配布

青枠: “駅まち回遊” まちづくり
 黄枠: “賑わい創生” まちづくり
 緑枠: “歴史文化” まちづくり
 紫枠: “観光交流” まちづくり

[地理院地図(国土地理院)を加工して掲載]

官民連携による「敦賀市まちづくりファンド」活用事業
 (「敦賀市店舗等魅力向上支援事業」)認定事業位置図

令和6年10月31日時点
 【51件採択】

内訳 特定エリア内: 43件
 特定エリア外: 8件
 新規開業25件(黄色)

年度別採択件数

令和4年度 5件(緑枠)
 令和5年度 28件(赤枠)
 令和6年度 18件(青枠)



(株)相木魚問屋
 (作業場見学スペースの改修)

(株)相木魚問屋
 (物販売場の改修)

和伊和伊亭
 (飲食店の開業)

・港都つるが(株)
 (テナント誘致に向けた物件改修)

・橋本大輔
 (観光拠点の整備に向けた物件改修)

・(株)五縁
 (新たな観光拠点の整備)

・(同)FUTATABI(物販店の開業)

・La claret(ラクラルテ)(飲食店の開業)

どんと屋
 (飲食店の改修)

働き
 (飲食店の開業)

・港都つるが(株)
 (テナント誘致に向けた物件改修)

天清酒万寿店
 (物販店の改修)

(株)mogplus(mikocafe)
 (飲食店の開業)

・大幸ハウジング
 (テナント誘致に向けた物件改修)

・彦太夫
 ・魚頂天
 (飲食店の開業)

寿司一本槍
 (飲食店の改修)

【特定エリア外】
 ・Speranza Fiore
 (既存飲食店の改修)

(有)丸仁
 (飲食店の改修)

(有)笑福堂
 (物販店の開業)

千束そば
 (飲食店の改修)

C&W夜長
 (飲食店の開業)

Yuu.cafe
 (飲食店の開業)

・もいせ(飲食店の改修)
 ・moise II(飲食店の開業)
 ・(株)PANTES365Japan
 (ベーカリーカフェの開業)

・BAR S
 (くしかつ麻呂)
 ・ビーコネクト(株)
 (TORIBEER)
 (飲食店の開業)

チョアチョア
 (飲食店の開業)

敦賀昆布(株)
 (土産品店の改修)

(有)丸勘
 (飲食店の改修)

【特定エリア外】
 ・GIANT STEPS
 (パン屋の開業)

(株)ザバツサ(まるさん屋)
 (飲食店の改修)

お好み焼きすてっぴ
 (飲食店の改修)

鞠花
 (飲食店の改修)

(株)PANTES365Japan(パンテス敦賀店)
 (パン屋の開業)

(株)すずや
 (飲食店の改修)

大衆酒場白銀Tiny
 (飲食店の開業)

(有)フラワーフーズ
 コーポレーション(笑吉)
 (飲食店の改修)

(株)日光モーター
 (レンタカー店舗の改修)

お食事処 健
 (飲食店の改修)

(地理院地図(国土地理院)を加工して掲載)